

麻しん（はしか）患者の発生について

堺市において 1 名の麻しん（はしか）の感染が確認されましたので、以下のとおりお知らせします。

当該患者の疫学調査を行った結果、以下の公共交通機関を利用しており、不特定の方と接触している可能性があることが分かりましたので、広く注意喚起をするものです。

1 患者の概要

- (1) 年代・性別：20 代・女性
- (2) 主な症状：発熱、頭痛、発疹
- (3) 発症日：令和 7 年 3 月 24 日（月）
- (4) 発生届出年月日：令和 7 年 3 月 26 日（水）（検査確定：令和 7 年 3 月 26 日（水））
- (5) ワクチン接種歴：2 回

2 感染性のある期間に患者が利用し、不特定多数の方と接触した可能性のある日時及び公共交通機関

3 月 23 日（日） JR 阪和線「津久野」駅（午前 10 時 39 分発）から「三国ヶ丘」駅（午前 10 時 47 分着）まで乗車

3 麻しん（はしか）の概要

- 感染すると、約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪の様な症状が現れます。2 日から 3 日間ほど熱が続いたあと、39℃以上の高熱と発疹が出現すると言われています。
- 感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、感染力は非常に強いと言われています。
- 麻しん（はしか）は予防接種で防げる病気であり、ワクチン接種は個人でできる最も有効な予防方法です。麻しん（はしか）の定期予防接種（第 1 期：1 歳児、第 2 期：小学校就学前の 1 年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。

4 市民の皆様へ

- 上記感染の可能性がある日時に上記公共交通機関を利用された方で、令和 7 年 4 月 13 日（日）までに発熱・発疹等、麻しん（はしか）を疑う症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡の上、マスクを着用し、公共交通機関の利用は避けて速やかに受診してください。
- 麻しん（はしか）の潜伏期間は、約 10 日から 12 日（最大 21 日間）で、麻しん（はしか）患者と接触した場合には、接触後 3 週間（21 日間）注意が必要です。
- 施設への直接の問合せはお控えください。感染症法の趣旨に則り、個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、また、施設に対する風評被害がないよう特段のご配慮をお願いいたします。

5 医療機関の皆様へ

- 発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻疹（はしか）の予防接種歴の確認等、麻疹（はしか）の発生を意識した診療を行い、臨床症状等から麻疹（はしか）と診断した場合には、速やかに保健所に発生届のご提出をお願いいたします。
- 患者（疑い含む）は個室管理を行う等、麻疹（はしか）の感染力の強さを踏まえた院内感染対策の実施も併わせてお願いいたします。

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：健康福祉局 保健所 感染症対策課 電 話：072-222-9933 ファックス：072-222-9876
----------------------------	--